

I. 平成30年度の取組みの実績

グループ名称	一般社団法人 徳島県木の家地域協議会			
H30採択グループ番号	07	—	0526	— 0647

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	地域型住宅のPRの一環として、初めて地元のフェアにブース出展し会員工務店と地域型住宅のPRを行った。 また若手大工育成に繋がる取組みとして、昨年度より徳島県立西部テクノスクールと連携し、若手大工の雇用を希望する会員工務店に対し、当協議会を窓口として、卒業生を紹介した。 さらに南海トラフ巨大地震発災時の応急仮設木造住宅の供給に関する取組みとして、徳島県と全木協が締結した「災害時応急仮設木造住宅建設協定」に基づき、応急仮設木造住宅の配置計画の作成支援及び基本仕様の各種図面の作成を行った。
----	--

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/06/19	名称	H30年度グリーン化事業説明会		
	内容	平成30年6月19日(火)午後13時30分から、(一社)徳島県木の家地域協議会の総会と同時開催でH30年度地域型住宅グリーン化事業説明会を開催した。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2018/05/06	名称	JA共済防災フェスタ		
	内容	平成30年5月6日(日)にアスティとくしまで開催された「JA共済防災フェスタ」にて、協議会でブース出展を行い、一般消費者に向けた地域型住宅のPRと会員企業のPRを行った。						
	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
③ 工務店	工務店研修会 1	無	開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容							
取組み②	サポートの有無 2							
	内容							
取組み③	サポートの有無 3							
	内容							

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	0	発行予定	0
② 住宅履歴情報の保管先	自社	機関名		

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	グループ内で工務店が廃業した場合は、グループ内の工務店もしくは理事工務店で協力して完成まで責任を持って工事を行う。						
② H30年度における施工構成員の廃業	無						
対応内容							

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有						
内容	会員工務店及び設計事業者向けへの取組みとして、徳島県の講習実施機関のフレッセと連携し、当協議会が担当する省エネ講習会を実施した。						
省エネ化に対する取組 ②							
内容							
BELS工務店の登録数	3社						

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	一般社団法人 徳島県木の家地域協議会			
H30採択グループ番号	07	—	0526	— 0647

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/06/18	名称	グリーン化事業説明会		
	内容	令和元年6月18日(火)13:30から開催する(一社)徳島県木の家地域協議会の総会と同時開催で、当協議会に加入する工務店、設計者向けに、グリーン化事業に関する説明会を開催する。						
② 消費者	消費者説明会 1	無	開催日		名称			
	内容							
	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/09/26	名称	工務店視察研修会(北海道・武部建設)	タイプ	見学会
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	未経験工務店がグリーン化事業の申請を行う場合、経験済みの工務店もしくは理事工務店の担当者が申請等に必要な支援を行う。						
取組み②	サポートの有無 2							
	内容							
取組み③	サポートの有無 3							
	内容							

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	自社	機関名	
------------	----	-----	--

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	グループ内で工務店が廃業した場合は、グループ内の工務店もしくは理事工務店で協力して完成まで責任を持って工事を行う。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容							
省エネ化に対する取組み (改修)							
内容							

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/07/10				
内容	令和元年7月頃を目処に、グループ構成員を対象に省エネ改修に係る計画、省エネ計算、施工方法等省エネ改修に関する研修を実施する。尚、日程等の詳細については6/18に行われる(一社)徳島県木の家地域協議会の総会で決定する。						
研修計画 ②		実施日					
内容							

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	一般社団法人 徳島県木の家地域協議会				
H30採択グループ番号	07	—	0526	—	0647

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	当協議会の活動地域である徳島県は、南海トラフ巨大地震の甚大な被害が想定されている地域で、今後30年間で70～80%の確率で発災するとされている。 また、気候は日照時間が長く、比較的温暖な気候ではあるが、日本の中でも降水量が多い地域でもある。 さらに県が伝統工芸である阿波和紙をはじめ、藍で染め上げた建具等、現代の住宅にも充分使える建具等を推進している。 このような地域の気候等の特徴を踏まえ、耐震等級2相当の確保による南海トラフ大地震対策や、平成28年度省エネ基準の採用、軒、庇を設けた夏の日射対策、台風時の強風雨等の対策、障子、建具の積極提案を行う。
----	---

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満		50%以上	■	80%以上	
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明					
主要構造材	土台	有	主要構造材の過半(50%以上)申請した地域材を使用する。 地域材の証明については、申請した各種認証制度を利用し、出荷証明書等にて証明する。 尚、「主要構造材の過半(50%以上)に使用する地域材」については、出来る限り徳島県産材を利用するよう推奨する。			
	柱	有				
	梁・桁等の横架材等	有				
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無				
造作材	枠材、廻縁等	無				
板材	壁板、床板等	無				

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	無	
内容		
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	協議会に地域の建材業者等にも加入してもらい、標準仕様書等の作成に取り組む。商品の統一化による調達面の合理化や事務の合理化を目指す。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	無	
内容		
④ 施工に関する統一ルール	無	
内容		
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	無	
内容		
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	無	
内容		
⑦ 見積りに関する統一ルール	無	
内容		
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	若手大工育成に繋がる取組みとして、技能や経験を明確に評価できる仕組みの構築のため、徳島県及び徳島県木造住宅推進協議会等との間で定期的に協議を行っている。昨年度より徳島県立西部テクノスクールと連携し、若手大工の雇用を希望する会員工務店に対し、当協議会を窓口として、卒業生を紹介している(5名雇用)。	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	建築業におけるライフワークバランスの向上のための週休2日制の導入に向け、協議会内で推進する。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	会員に向けて(一社)JBNが作成した「JBN大工育成ガイドライン」の活用を推進している。昨年度は2工務店が「教育プログラム」等を実際に活用し、社員として雇用した若手大工の教育を行っている。
③ 社会保険への加入	有	内容	ほとんどの会員が法人であり、基本的に社会保険に加入しているが、取引業者、下請業者等も含めた社会保険への加入について、協議会内で推進する。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	会員の取引業者、下請業者への労働保険の加入勧奨をはじめ、従業員への健康診断の受診の勧奨や安全衛生大会について、協議会内で推進する。

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	一般社団法人 徳島県木の家地域協議会				
H30採択グループ番号	07	—	0526	—	0647

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	無	内容	
② 和瓦の活用	無	内容	
③ 襖・障子の活用	無	内容	
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	阿波和紙の活用を推奨している。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	無	内容	
② 地域の住まい方の継承	有	内容	南海トラフ巨大地震の甚大な被害が想定されている地域でもあり、今後30年間で80%の確率で発災すると予測されているため、最低限耐震等級2相当を確保する。
③ 地域の街並み形成への配慮	無	内容	

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み			
<p>当協議会は徳島県危機管理部からの要請により、平成28年熊本地震で被災した地域への支援、交流の一環として、工務店団体として派遣された(県事業)。 また徳島県の応急仮設木造住宅を建設する全木協の構成団体として、幅広く協力する。</p>			
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み			
<p>南海トラフ巨大地震発災時の応急仮設木造住宅の供給に関する取り組みとして、徳島県と全木協が締結した「災害時応急仮設木造住宅建設協定」の幹事会社に当協議会の幹事が選定されているため、有事の際には協定に基づき進んで応急仮設木造住宅の建設に協議会を挙げて協力する。 また全木協徳島県協会の活動にも積極的に協力し、会員工務店にも参加を募り、有事に備える。</p>			